

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
公民・公共	2	公共（実教出版）	高校生のためのふるさと富山 （富山県教育委員会）
科目の概要と目標	人間と社会のあり方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
単元	学習内容	到達度目標	
公共の扉	<ul style="list-style-type: none"> ・社会を作る私たち ・人間としてよく生きる ・他者とともに生きる ・民主社会の倫理 ・民主国家における基本原理 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間を形成する上で、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など日本国憲法の基本的原理や、各人の意見や利害を公平・公正に調整することの大切さ、対話を通して互いの立場やを理解する。 ・現実社会に対する関心を高め、そこに生じる課題を考察することの大切さを理解し、いかに生きるかを主体的に考えることの大切さを自覚することができる。 	
よりよい社会の形成に参加する私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本生活 ・日本の政治機構と政治参加 ・現代の経済社会 ・日本経済の特質と国民生活 ・国際政治の動向と課題 ・国際経済の動向と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会について、倫理、法、政治、経済、文化、国際社会、平和など、多様な角度から考察し、社会への参画に向けて知識や考え方および探究する姿勢などを身につける。 ・他者とのかかわりを見つめ、共に生きる社会を築くという観点から自己の生き方や社会の在り方について考えることができる。 	
持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なよりよい社会づくりに向かって、課題を見だし、他者と協働して考察したり探究したりする活動を通して、自分の考えを形成し、表現することができる。 ・現実社会に対する理解を深め、幸福、正義、公正などに着目して、人間としての在り方や、生き方について考えを深める。 	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
公民・倫理	2	高校倫理 新訂版 (実教出版)	高校生のためのふるさと富山 (富山県教育委員会)
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期を生きる自分自身の生き方や考え方をみつめ、その中で生まれるさまざまな悩みや思い、困難を、より広い社会的な視点から思索し理解しようとする力を育てる。 ・東西の先人たちの思想に学び、その思考の跡をたどる中から、自分自身の問いを掘り下げ、人間の存在や価値を追究していくことの意味を理解しようとする力を育てる。 ・現代社会が抱えるさまざまな問題を理解し、その中で自分自身がいかに生き、行動できるかを考える態度を育てる。 		
単元	学習内容	到達度目標	
青年期の課題と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義 ・青年期の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の特徴を心理学的にとらえ、自分自身の体験や悩みとつなげて理解することができる。 ・家族や友人など大切な他者との関わり方、また、私たちが生きている時代との向き合い方などについて、事例を参考に学習することで、自分自身の生き方を思索することができる。 	
人間としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ギリシア思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国思想 ・芸術と人生 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の哲学、宗教のはじまりと先人達が残した言葉を学習し、人が生きる上での哲学や宗教、芸術の意義について考えを深めることができる。 	
日本人としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、伝統や風土、外来思想の受容との関わりから理解することができる。 ・仏教思想の日本での受容と展開について、代表的な思想家の人生と思想に触れることで理解することができる。 ・明治時代以降、西洋思想を取り入れ、時代と格闘しながらも独自の思想を築き、近代的自我を確立しようとした日本の思想家たちに学ぶことで、日本の社会の在り方と人間の生き方について、思索を深めることができる。 	
現代に生きる人間の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳 ・科学・技術と人間 ・民主社会と自由の実現 ・社会と個人 ・人間への新たな問い ・社会参加と幸福 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世から近代への架け橋となった西欧の思想家に学ぶことで、理性を大切に科学的な精神、個人と社会の関係、人間の自由と自律など、封建的な社会を打破し、現在にも受け継がれてきた近代的な規範について理解できる。 ・近代の人間観と、現代に生きる人間が直面する諸課題との関わりについて、多面的に考察することができる。 ・自然や他者との連帯・共生を目指す思想に学び、自分自身の社会参加や自己実現の観点から、その意義について考察できる。 	
現代の諸課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の倫理 ・環境の倫理 ・家族の課題 ・地域社会の課題 ・高度情報化社会の課題 ・文化と宗教の課題 ・国際平和と人類の福祉の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会が抱える様々な問題（戦争と平和、差別と共生、科学と生命等）に焦点をあて、その問題の深層を探ることで、自分自身の問題としての認識を深めることができる。 	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
公民・政治・経済	2	最新政治・経済 新訂版 (実教出版)	
科目の概要と目標	<p>広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させる。また、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>		
単元	学習内容	到達度目標	
現代の政治	<ul style="list-style-type: none"> ・現代国家と民主政治 ・日本国憲法と基本的人権 ・日本の政治制度と政治参加 ・現代の国際政治 ・日本の平和主義と国際平和 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本の政治及び国際政治について関心を持ち、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解できる。 ・民主政治の本質や現代政治の特質についての基本的な見方や考え方を身につけることができる。 ・望ましい政治の在り方と主権者としての政治参加の在り方について考察できる。 ・国際政治の特質や国際紛争の諸要因について理解し、国際社会における日本の役割について考察できる。 	
現代の経済	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会 ・現代の日本経済と福祉の向上 ・現代の国際経済 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を持ち、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解することができる。また、その特質を把握し経済についての基本的な見方や考え方が身につく。 ・グローバル化が進む国際経済の特質について理解し、国際経済における日本の役割について考察できる。 	
現代社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の政治や経済の諸課題 ・国際社会の政治や経済の諸課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題について、政治と経済を関連させて探究できる。 ・政治や経済の諸課題の望ましい解決の在り方について考えを深めることができる。 	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
公民・現代社会	2	現代社会（東京書籍）	高校生のためのふるさと富山 （富山県教育委員会）
科目の概要と目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断する能力を育てる。また、自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。		
単元	学習内容	到達度目標	
わたしたちの 生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題 ・資源、エネルギー問題 ・科学技術の発達と生命 ・情報化の進展と生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解することができる。 ・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考えることの大切さを自覚することができる。 	
現代の社会と人間	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期と自己形成の課題 ・日本国憲法と民主政治 ・現代社会と法 ・現代の経済と国民福祉 ・国際社会と人類の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解することができる。 ・自己とのかかわりに着目して現代社会に生きる人間としての在り方や、生き方について考えることができる。 	
ともに生きる社会 をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・ともに生きる社会をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を研究することができる。 ・現代社会に対する理解を深め、現代に生きる人間としての在り方や、生き方について考えを深める。 	